

昭和十四年

底務一件

染織講社



順位

件

記

式典、圖記件

風致地区内、買入件

諸社員、芳集依頼、件

団体代表者招待、件

諸社員、芳集要員招請、件

式典要員、呼託、件

諸社員、芳集依頼状送付、件

団体諸社員、令招電、件

特別令招電、件

染織講社

式典要員、件

式典費用、諸社員、通知

風致地区内、芳集、件

式典場所、変更、通知

諸社員、式典、芳集、依頼、件

諸社員、芳集、依頼、件

諸社員、芳集、依頼、件

諸社員、芳集、依頼、件

諸社員、芳集、依頼、件

諸社員、芳集、依頼、件

諸社員、芳集、依頼、件

二	國政地区現状変更指令
二	運動場使用許可指令
二	供糧申込書
二	滿地島警察署員挨拶状
二	補助金請求書
二	岩電降降一名記念品贈呈一件
二	滿地島分租宅領収証
二	補助金交付一件 (組合簿行)
二	事務片嘴託一件 (西村文雄)
三	評議員嘴託一件 (村久路都七 戸部高部七)
三	名譽会長掛戴一件
三	常任理事會開催一件
三	昭北衣之器元書籍一件
三	深織傘之器具使用一件 沖繩会
三	十四年収入及支出之元経費中、日報費
三	阿月牛嘴託一件
三	何人講話員、岩井孝子教科送電一件
三	滿地島事務片嘴託一件
三	十四年、滿地島補助金指令 村知子
四	阿月牛嘴託一件 村知子
四	猪飼嘴託一件
四	市会堂公構内使用一件申請

染織講話社

京都府第一五

昭和拾四年壹月拾九日

京都府神職會長岩重隆治



染織講社會長市村慶三殿

染織祭式典執行ニ関スル回答件

客年五月二十三日付ヨリ以來四月八日岡崎公園市公會堂本館跡ニ於テ染織祭舉行ニ付式典一切御依頼件拜承仕候條御承知相成度此段及御回答候也

京都府神職會長

昭和十三年三月廿二日決裁

昭和拾參年三月廿二日發行

淨寫者 校合者

昭和十三年十一月廿二日起案

起案者

敬

會長

副會長

理事長

常任理事

理事

幹事

染織部之買入件

年月日

染織部社長 名

京都府神保町會長 宛 (岩室隆治)

指図本講社主佐 染織部は九

記の通決定致す其式典之買入件

稟議用紙

染織講社

例年通夫令より一任致す其買入

予宣敷師の配九短之と好段師

依頼中より致具

追命式典之要之費用ハ市打合セ上

決定致す其買入件合しおすより

記

昭和十四年四月八日午前十時岡崎公園

市公舎堂本館跡

意

敬具

昭和十三年一月

染織講社社長

京都市長 為

染織講社社長

京都市長

為

染織講社

昭和十四年四月拾日決裁

昭和十四年四月拾日發

淨寫者

校合者

昭和十四年 月 十 日 起案

起案者

會長

副會長

理事長

常任理事

理事

庶務

染織祭園係団体代表者招待件

年月日

會長 名

園係団体代表者宛(別記)

拝啓 愈々清通 貴方より陳有毎々講

比々業々 貴方より大いなる配り得し事 深謝

稟議用紙

染織講社

又就本年四月より、染織祭園に於ては、
依頼より、貴方より、百円を賜ひ、下り
達成せられ、且、日午後五時開始する所、此
方より、煩し、然段得共、意思より、敬具

一案

常任理事 参考方依頼、件

年月日 理より 一 件

常任理事より、三商店理より宛

拝啓 本講社に於て、貴方より、毎々、

配り得し事 深謝 貴方より、陳有毎々講

係團體代表者に左記ノ通參集方依頼
致置候間當日主人側トシテ此處
度此般に依頼中候

静島

記

一日時 一月廿五午五時

一場所 田崎つるや

理事 長

石川芳太郎

八木伊三郎

山川乙次郎

長安山三

阪本宗武

会議所 理事 原 久男

小泉 正

四商店側

丸紅商店京都支店長 矢野治太郎

市田商店支店 人 山川乙次郎

安藤商店支店 人 圓城守二郎

染織講社

吉田忠商店元締役 岩村史朗

理 芳賀新助

中村隆太郎

三橋不太郎

四角
四角
九角

國庫團代表者

京都織物部同屋同業組合

組長

阪田郁二

副組長

矢野昭太郎

室町北支店 染工眼部長 株式會社市田商店

室町三條下

西陣織物部長 株式會社矢代商店

西陣町三條上

絹布白生地部長 合資會社野橋商店

當小路御池上

中津市部長 株式會社田商店

島上後池下

綿織物部長 株式會社伊吹商店

東洞院下町下

同業織物部長 外村共成東洞

室町路栗郎上

絹白生地部長 株式會社山平仁商店

染

織

今市八宮西

西陣織物工業組合理事長 長谷川市三

西陣町長谷川市三

京都織物同業組合組長 岡本仁吉

日本織物同業組合組長 岡健太郎

京都織物同業組合組長 川乙次郎

京都織物同業組合組長 船橋庄七

京都織物同業組合組長 大橋常次郎

京都織物同業組合組長 竹上義次郎

京都織物同業組合組長 代表 田中久之郎

京都織物同業組合組長

京都織物同業組合組長

京都織物同業組合組長

京都織物同業組合組長

京都織物同業組合組長

京都織物同業組合組長

京都織物同業組合組長

京都織物同業組合組長

京都織物同業組合組長

京都織物同業組合組長

京都織物同業組合組長

京都織物同業組合組長

京都織物同業組合組長

京都織物同業組合組長

京都織物同業組合組長

以上十七名

京都織物卸同業組合

一月廿五日 午後五時

出席

組長 沼辺 郁二氏

出席

副組長 久守 治石郎氏

出席

染工部長 市田 商店

出席

西陣織物部長 久代 商店

出席

綿布自地部長 野橋 商店

出席

半襟部長 細田 商店

出席

綿織物部長 伊吹 商店

出席

關系織物部長 外村 豊正氏

出席

人絹自地部長 山本 仁商店

染織講社

出席

欠席

出席

出席

出席

欠席

出席

出席

以上十七名

出席

岡部 理子

出席

岩村 理子

14

欠席

2
市
村
会

石川理長

欠陽

和常任理事

宣瑞

山川常一任情

欠序

小田水常任理子

欠序

改本常耀

欠席出席

梁辰川

出席

三
指
彈
子

出席

中村理子

廿四日
理子

出席

月 1 日

出
席

欠
欠
中
明

10

117.

染織講社

昭和十四年度個人講社員割當（一口五圓）

組 合 名

十四年度割當數

京都織物卸問屋同業組合	三八〇
西陣織物部	二〇〇
人絹白生地部	五〇
綿織物部	四〇
半 藤 部	三〇
關東織物卸商業組合	五〇
西陣織物工業組合	一三〇
西陣着尺織物工業組合	三〇
京都洋傘ショール組合	三〇
京都洋服反物商組合	六〇
京都宣傳大會	〇
其 他	一、〇〇〇
計	一、〇〇〇

昭和十四年度國庫證券社員（一口五十圓）

組合名

十四年度割當

西陣織物工業組合
西陣着尺織物工業組合
京都織物卸問屋同業組合
京都染物同業組合
京都吳服悉皆同業組合
日本染織物見本市協會
京都蠶糸商同業組合
京都織物輸出組合
京都關東織物卸商業組合
京都刺繡同業組合
百貨店商業組合京都支店
小松織物同業組合
福井縣織物同業組合
秋久織物工業組合
丹後縮緬工業組合
京都入。ヲ捺染工業組合
京都晒染工業組合
關西機械捺染工業組合

計

1

昭和十三年度個人壽社員勉當及由込状況（一口五圓）

組 合 名		十三年度割當數	十三年度申込數
京都織物卸問屋同業組合	呉服部	三五〇	三一
西陣織物部		二〇〇	二六三
人絹白生地部		五〇	五四
綿縫物部		四〇	六六
半襟部		三〇	三〇
關東織物卸問屋組合		五〇	五二
西陣織物工業組合		一三〇	一三〇
西陣着尺織物工業組合		三〇	二九
京都洋傘シヨール組合		三〇	四一
計		一〇〇〇	一、一五七
京都宣傳大會		八〇	八〇
其他		一〇	一

印 三十一名

皇町像小路角	梯武今北	美川益次郎	出席
六角寺内院西入	三宅清信即南左	三宅清信即	出席
皇町四角下	梯武今北	須田益三	出席
皇町高止角	田中久之助	田中久之助	出席
高止三角下	長神清即南左	三品喜三郎	出席
方角皇町西入	美川益次郎	佐後時次郎	出席
今町大宮東入	西陣清即南左	小西并次郎	出席
今町清橋寺東入	西陣清即南左	北川治次郎	出席
馬丸四角角	宇都宮物即同屋南	小林美樹雄	出席
西河院四角角	宇都宮物即同屋南	小倉良之助	出席
馬丸清橋寺東入	宇都宮物即同屋南	加賀良之助	出席

染 織 講 社

昭和拾四年二月廿四日
昭利十二年一月廿四日起案

起案者

天

日發行

淨寫者

校合者

會長

副會長

理事長

常任理事

理

事

幹事

本年四月八日奉旨，滿鐵籌備之典，係員別
紙一通，囑託以奉命裁。

鳴詠集

年 月 日

合
長
名

25

謙
躬
音
適
平
賀
美
陳
右
來
心

稟議用紙

染織講社

四月一日例年通り、本市公会堂措置由地、
於テ陳謝祭奉り可致まじ就ニ夫
下ニ武典要員長(要員)ト申明託中
上ノ要員ト解系仕中、事々以端、耳、
主共ト承取諾、事々以諸多宣敷、
又斗一、亦不、自、改、而依頼高得受入
音、矣、敬具

明治時代風俗の如何に皇朝に改化し、鑑とし、
止致まじ、承取知、事々以、耳、

壬午小

武典要員長

要員

付官部部長 岩重隆治

付官部部長 鈴木 允

神職部部長 島田 幸節

上村 豊昌

岸本 定美

菅 貞 幸

山本 貞 七

戸根 貞 治

鈴木 善 次郎

像員

神職部部長

染織講社

昭和 四年二月 四日起案	昭和 四年二月 日決裁	昭和 四年二月 日發行	淨寫者 家持	校合者
--------------------	-------------------	-------------------	-----------	-----

會長

副會長

理事長

常任理

理事

幹事

謝社員某依賴其他
送付，件

24
12
b

陳鐵調子

通 市 送 付 中 古 五 月 日 市 爲 防 中 一 下

稟議用紙

染織講社

仰承感精。尋教仰勸。請九如。以前年
申。教以上。仰。高。配。九。如。及。於。敬。特。
仰。依。賴。中。上。之。其。敬。具。

請託
依
賴
狀

$$\frac{1}{n}E$$

通

ク
申
込
—
申

待遇方法

封簡

十三年分講訓記卷之四

何

十七
弟靜端端端
却南葉端端
八
弟靜端端端

Handwritten text in Devanagari script, likely a signature or name, appearing twice in a row.

昭和十四年度個人壽社員割當（一口五圓）

組 合 名

十四年度割當數

京都織物御問屋同業組合
染 吳 服 部

三 八 〇

各物
送付
数

各物
送付
数

西陣織物部

二 〇 〇

二 六 三

一 〇

人絹白生地部

五 〇

五 四

五

綿織物部

四 〇

六 六

五

半襟部

三 〇

三 〇

五

關東織物卸商業組合

五 〇

五 二

五

西陣織物工業組合

一 〇

三 〇

五

西陣着尺織物工業組合

三 〇

三 〇

五

送付
数

京都洋傘ショール組合
京都洋反物商組合

三 〇

八 〇

五

京都着物同業組合

六 〇

八 〇

五

其 他

計

一 〇 〇 〇

八

昭和十四年貳月拾參日決裁

昭和十四年貳月拾參日發行

淨寫者

校合者

昭和十四年貳月八日起案

起案者

會長

副會長

理事長

常任理事

理事

幹事

団体講話員分組全一件

年月日

會長

団体長宛

輝啓各、本講話員分組、業々として、大、中、小、配属、預、以、市、薩、成、大、学、カ、ロ、ウ、ス、改、即、同、層、に、存、在、之、し、全、う、講

稟議用紙

染織講話社

社員各位、素絶大に、即、援助、賜、ト、不、謝、主、就、に、本、年、分、団体講話、員、分、組、全、件、由、来、凡、四、月、上、旬、迄、に、即、送、呈、し、り、と、標、印、を、付、し、お、贈、り、以、版、持、に、即、依、頼、中、上、に、至、敬、意、

昭和十四年度團體講社員（一口五十圓）

組 名

十四年度割當

今市大宮系

今市山崎系

四手烏丸系

四手西河院系

五手南金澤系

五手烏丸系

六手系

烏丸系

訪可

妙ノ四組

妙ノ人組

妙ノ物組

妙ノ組

西陣織物工業組合

西陣着尺織物工業組合

京都織物卸問屋同業組合

京都染物同業組合

京都吳服悉皆同業組合

日本染織物見本市協合

京都蠶糸商同業組合

京都織物輸出組合

京都關東織物卸商業組合

百貨店商業組合京都支店

小松織物同業組合

福井縣織物同業組合

秩父織物工業組合

丹後縮緬工業組合

はとや百貨店

計

染織講社

昭和四年正月拾日

目決裁

昭和四年 貳月拾參日

目錄

淨寫者

校合

昭和十四年二月八日起案

起案者

三

會長

副會長

理事長

常任理事

理事

幹事

特別合担金
買石儿件

年
12
12

會長

早濤儼物見奉市帳會子

西陣織物大分長

東澤田信誠調宣傳書会長

京議用紙

染織講社

系染 北陸編組宣傳大会 長

十日織初宣傳大会長

檢閱愈清適
身如每中調
此可

昔年、
あし
ういふ大ノ
いすばな
ゆづり
見たり

海關總務處 特別倉庫

何年四月上旬
15 2 即呈

金市下等柳印方配丸烟心交外散特

2
仰
依
賴
中
上
下
敬
目

敬
~~分~~
n

特別合旦

金四百日

日本赤十字会

金百五十日

西陣織物大会

金百五十日

大連市伝令

金百三十日

大連市伝令

金百五十日

大連市伝令

金九百日

昭和 五年二月二日決裁	昭利 五年二月二日發行	淨寫者 	校合者
昭和 五年二月二日起案	昭利 五年二月二日起案		

會長
副會長

理事長
代

常任理事

理

事

幹事

或典示員令一併

年
月
日

合長

典
委
員
係
員
宛

臨邑
 趙適
 羊賀
 陳若來百四

月八日
八日
の
藻
織
糸
式
典
を
買
し
て

恨
中
上
高
要
月
(即
為
作
即

稟議用紙

染織講社

陳惠來
百十三日午後
時
都付新館

今欲室近河之旁
先起一長城殿師

依
牙
甲
上
去
爲
目

式典係協議事項

一 染織祭式典日時

四月八日午前十時

二 全 式典場所

市公會堂構内元公會堂本館跡

三 全 式典次第

別紙ノ通

四 時代風俗行列中止

右ハ皇國ノ現状ニ鑑ミ本年ハ之レヲ中止ス

五 時代婦人風俗嚮展示會開催

右ハ適當ノ時機ニ於テ本講社所藏ノ猪飼瀬谷嚮伯ノ時代婦人風俗嚮ノ展示會ヲ開催セントス

六 式典ニ關シテハ府神職會長ニ萬事御一任致候間御承知被下度

樂織祭式次第

四月八日 午前十時

午前十時祭主以下参列者着席

次 齋主 齋員 着席

次 修

祓

次 降

神

菅搔 一同起立

次 神饌ヲ供ス

此間奏樂

次 幣物ヲ供ス

次 齋主祝詞ヲ奏ス

一同起立

次 祭主祭詞ヲ奏ス

一同起立

次 齋主玉串ヲ奉リテ拜禮

次 齋員 拜禮

次 祭主玉串ヲ奉リテ拜禮

次 京都府知事玉串ヲ奉リテ拜禮

次 京都市長玉串ヲ奉リテ拜禮

次 京都商工會議所會頭玉串ヲ奉リテ拜禮

次 樂織神社理事長玉串ヲ奉リテ拜禮

次 樂織神社評議員代表玉串ヲ奉リテ拜禮

次 式典委員長玉串ヲ奉リテ拜禮

次 祭事委員長玉串ヲ奉リテ拜禮

次 來賓玉串ヲ奉リテ拜禮

次 参加各團體代表者玉串ヲ奉リテ拜禮

次 神饌ヲ撤ス

此間奏樂

次 昇 拜

次 諸員 退下

式典 委員長

委員

岩室隆治

鈴木元

鳥羽重節

辻村豊宣

岸本定美

菅貞幸

出雲路通次郎

山本久七

戸根貞治

鈴木善次郎

染織講社

高屋定由

神保局 幹事

府北
宗像神社

昭和 年 月 日決裁
昭和十四年二月十九日起案
昭 和 十 四 年 貳 月 拾 日 發 行
淨寫者
校合者

會長
副會長
理事長 代
常任理事
理事
幹事

染織糸式典其費用一件

年一日

京都府神戶市長宛 (今熊野町日吉所)

神戶市染織糸式典

稟議用紙 染織講社

シ以テ染織講社トシテ就テ其費用
トシテ金壹百七拾圓支出可致其月
宣敷シテ升一お申上ル事也

左記其前年同、申上ル事也

急
12
号

七五

昭和 年 月 日決裁
昭和十四年三月十四日起案
昭 和 拾 四 年 參 月 拾 五 日 發 行
淨寫者
校合者

會 長
副會長

理事長

常任理事
理 事

幹 事

風致地區内行為變更一件許可申請

年 月 日

染織講社會長
市都庁長

市都府知事 免

稟議用紙
染織講社

本年一月十七日市都府指令四都中七号以風致地區内行為變更一件許可申請受令知事
般都府之修別紙圖面之許可變更致令
五月十日許可知事 然段中 諸君之

記

一變更場所 岡崎公園市運動場全部

二着自英完了予定期 自昭和十四年四月三日 至 本年四月十日 八日

商號
14.1.19
收受

16.
14.1.18
京都府役所收受

京都府指令 四都第 七 號

染織講社會長

市 村 慶 三

昭和十四年一月十一日願風致地區内現狀變更ノ件許可ス

昭和十四年一月十七日

京都府知事 鈴木敬一



四六



京 都 府

75

二

昭和十四年一月廿六日

決裁

昭和十四年一月十一日

發行

淨寫者

校合者

昭和高年一月六日起案

起案者

印

會長

印

副會長

印

理事長

印

常任理事

印

理事

印

幹事

印

風致地區内行為許可申請

昭和十四年一月六日

染織講社會長

京都市長

京都市知事宛

稟議用紙

染織講社

名

稱

予

項

一申請者、住所氏名

京都市役所内

二行為地、所在及面積

染織講社會長、市村廣三、岡崎公園、市公合堂、構内地、西側、空地、(九公合堂、市館、跡及其前面)

三許可、受付、行為及其目的

染織、糸、場、設備

四着手並、先、了、了、定期

自四月四日、至四月九日、六日間

右風致地區規則中、京二條、依、許可、申、請、之、事、

京別紙、圖、面、添、付、外、知、事、請、之、事、

風致地區規則、梅草

中、二、京、風致地區、内、現、狀、ヲ、要、更、ス、キ、行、爲、ヲ、爲、サ、シ、タル、事、ハ、

別、紙、告、示、ス、ル、事、ヲ、シ、テ、陳、列、外、知、事、ノ、許、可、ヲ、受、ク、ベ、シ

昭和14年

[illegible]

會長

副會長

理事長

常任理事

理

事

幹事

陳繼泰武曲集內狀

禮院 愈々清満の段々大賀を
 陳者 未だ四月八日午前十時本市
 公会堂構内にて例年通り潔儀
 祭式典當年より可致矣市標
 合せ市参拝被成下度故敢而

稟議用紙

染織講社

蘇內中上卷 敬具

2
3
日
0

溪鐵譜社人雷良

京都市長市村瀧三

宛

講義員、對立

臨命
乍即
教南
考輝
一第
各赴
赴人
華武
主一
師一
報

九
大
一
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

一服未客_二對_三心_四追_五求

魚白乍降色數
甲參揮日節
奉杖師持參
九經

市內先

府例

知事以下各部課長

社會課長、市內警察署長 (川崎署八、四番三番)

八段消防署長

神社例

市內各神社官司、市宮神社官司

神社官司

其他官衙官司

市內各地方官署長、市內各師團長

市內各地方官署長、市內各地方官署長

染織講社

市內各役所署長、市內各役所署長

市內各役所署長、市內各役所署長

市內各役所署長、市內各役所署長

市例

市內各役所署長、市內各役所署長

市內各役所署長、市內各役所署長

市例

市長、市助役、市內各役所署長

市內各役所署長、市內各役所署長

市令議員

市令書記長

庶務課 中根主司、益大、助田書記

秘書課 吉川主司

地理課 島達主司、久林書記

其他

市聯合青年團長

市合同組合聯合會長

市千字北支那支部主司

八通廊主司

市內各新聞社社長、文局長、市政部諸

經濟記者、深澤園保新聞社長

諸社員、諸社役職員、市農會副會長

外、二名

染織講社

一五

昭和十四年貳月拾六日

日決裁

昭和十四年貳月拾六日

日發行

淨寫者

校合者

昭和十四年二月十六日起案

起案者

就

會長

副會長

理事長

常任理事

理事

幹事

個人講話員申請書移送一件
年一日日

京都鐵物卸同業日業組合

人絹日生地部宛

將該市內新町三丁目在川町次郎

稟議用紙

染織講話社

人絹別紙一通個人講話員申請書直
接當市役所へ送付有之其知事部
於市役所整理部宛に有之其事ト存
在之付市役所係P上之旨也



(申以書在中)

河内縣溝莊分長
市村慶三殿

昭和 年 月 日

人絹織物商



京都市新町通三條南入

ちきりや

石川正次郎商店

電話本局(四)三三七五番
電信略號(イ)三二八(イ)
京都局私書箱第四十四號

供養

常任理事

理事

俵

染織祭事務分擔

庶務係

- 一案内狀ノ名簿作成
- 二案内狀ノ發送
- 三受付事務

會計係

- 一物品ノ購入
- 二守衛、人夫、配膳ノ雇入
- 三金錢出納事務
- 四湯茶ノ設備

祭場係

- 一祭場ノ設備、整理
- 二守衛、人夫ノ指揮監督

接待係

- 一來賓、講師員ノ接待
- 二供饌、折詰、瓶酒引換
- 三來賓、講師員ヲ指定席ヘ案内
- 四配膳ノ指揮監督

供饌係

- 一各種團體、個人ヨリノ供饌受付
- 二供饌ノ配付

1
2

染 織 祭

四月八日午前十時祭典執行

場所 岡崎公園公會堂構内

各係員ハ當日午前八時迄ニ祭場ニ到着シ各分擔事務ニ從事セラレタシ
受 付 係

一 受付係ハ午前八時三十分迄ニ所定ノ場所ニ付カレタシ
二 受付主任ハ當日徽章及供饌、折詰、瓶酒引換券及印刷物ヲ庶務係ヨ

リ受取ラレタシ

但シ殘餘ハ庶務係ヘ返付ノコト

三 受付係ハ當日案内狀持參ノ者ニ限り案内狀引換ニ徽章、供饌、折詰、
瓶酒等ノ引換券ヲ渡サレタシ

四 案内狀持參ナキモノハ一應庶務係ヘ交渉セラレタシ

會 計 係

一 當日接待係ヘ供饌、折詰、瓶酒、風呂敷等ヲ引渡サレタシ

二 現品不足ノ場合ヲ考慮シ供饌、折詰、瓶酒、風呂敷等ノ補助券ヲ
準備シ置カレタシ

三 人夫、配膳ヲ各係ヘ配置セラレタシ

四 係員ノ中食ノ準備シ置カレタシ

接 待 係

一 接待係主任ハ會計係ヨリ供饌、折詰、瓶酒、風呂敷等ヲ受取ラレタ
シ

但シ殘餘ハ會計係ヘ引渡スコト

二 現品不足ノ場合ハ會計係ヨリ補助券ヲ請求シ受付ニ於テ交付セシ各
種引換券ト引換ニ補助券ヲ渡サレタシ

(補助券交付ノ際裏面ノ注意事項ヲ注意スルコト)

但シ引換券、補助券ノ殘餘ハ精算ノ上會計係ヘ返付セラレタシ

三 係員ハ受付附近ニ居リ來賓、諸社員ヲ指定席ニ案内セラレタシ

四 公會堂貴賓室ノ設備ヲナシ知事、市長、會頭、其他府市會議所ノ重
ナル來賓ヲ案内セラレタシ

五 配膳ヲ指揮監督シ湯茶ノ手配ヲナシ接待等ニ遺漏ナキ様注意セラレ
タシ

祭事係

- 一 前日ニ全部祭場ノ設備セラレタシ
- 二 守衛、人夫ヲ指揮監督シ祭場内ノ取締、清掃等ニ遺漏ナキ様手配セラレタシ

三 祭場各所ニ左ノ標札ヲ建設セラレタシ

祭主	神官	席
來賓	講社員	席
受付	事務	所
供饌、折詰、瓶酒	引換	所
湯呑場	便	所

供饌係

- 一 各種團體、個人ヨリノ供饌ハ午前八時迄ニ全部終了セラレタシ
- 二 各團體ヨリノ供饌ノ配布ハ前年ノ例ニ倣ヒ取計ラワレタシ

昭和 年 月 日 決裁
昭和 年 月 日 決裁
昭昭和拾四年 月 日 決裁
淨寫者 家新
校合者

會長
副會長
理事長 代
常任理事
理事
幹事

個人講社員申込書一件

年月日 講社名

拝啓 貴社に御依頼申上る事本講社員事務
係より一八日下御依頼申上る存多き者

稟議用紙 染織講社

案典即ち毛染、切廻致し、就テ諸予
準備、都合ニ希ク、且御依頼申上る事
賜ニ申上る事、至急御依頼申上る事、送付
未煩ニ、又、然、改、持、御依頼申上る事、
敬具

家屋

昭和十四年度個人壽社員割當（一口五圓）

連合名

十四年度割當数

京都織物卸問屋同業組合
染吳服部

三八〇

西陣織物部

二〇〇

人絹白生地部

五〇

綿織物部

四〇

半襟部

三〇

關東織物卸商業組合

五〇

西陣織物工業組合

一三〇

西陣着尺織物工業組合

二〇〇

京都洋傘ショール組合
京都洋反物商組合

三〇

京都軍需部
京都軍需部大倉

六〇

京都市衛生部
京都市衛生部商工部

五〇

計

一、〇〇〇

昭和十四年三月廿五日起案

昭和十四年三月廿五日

日發行

淨寫者

校合者

會長

副會長

理事長

常任理事

理事

幹事

評議員囑託一件

本講社評議員より囑託より言中

年日

漆職講社会長名

中里喜一宛(府總務部)

稟議用紙

漆職講社

二案

依頼状案

拝啓 貴社清通 貴社 際者本講社は去年昭和十三年二月別紙 執意より下り組織し毎年陽春の季とトし漆職案と舉行致し居る就ては貴社より本講社評議員より囑託より言中より仰る事請ふより本講社より貴社達成のため仰る配を賜ふ右に依頼する所と意中と

敬具

會長 名

昭和十四年三月十日

日決裁

昭和十四年三月廿日

日發行

淨寫者

校合者

昭和十四年三月廿日起案

起案者

小泉

會長

副會長

理事長

常任理事

理事

幹事

議社員申込書一件
年月日

佐野倉三郎宛

（京田院大前）
（京田院大前）

梅崎多々子 議社員一件

稟議用紙

染織講社

知し申謝書一紙十八日矢代仁商店より議社員
申込書西陣織物部より来るものにて九月廿五日申
込書に現金申持系より来る議社員一紙其書
店より其係より二付申込書一紙其書或至
急申込書申込書付振振より来る申込書一紙
其書或至急申込書申込書付振振より来る申込書一紙

京都府指令四都第七五號

京都市役所内

染織溝社会長 京都市長

昭和十四年 三月十四日願風致地區内現狀變更ノ件許可ス

昭和十四年 三月二十四日

京都府知事

鈴木敬



田中



常任理事

理



幹事



京
都
府

京都市指令收土地第一三五九號

市村慶三

昭和十三年七月一日附願岡崎公園運動場一時使用ノ件左ノ條件ヲ付シ之ヲ許可ス

昭和十四年三月廿七日

京都市長 市村慶三

條件

- 一、使用期日ハ昭和十四年四月三日^土日トス
- 二、使用前公園看守ニ其旨届出テ使用後ハ清潔ニ掃除シ公園看守ニ引繼クヘシ
- 三、使用料 免除トス
- 四、京都市公園使用條例中使用者ニ關スル規定ハ本條件トシテ之ヲ適用ス

染織祭式次第

四月八日 午前十時

午前十時祭主以下參列者著席

次 齋主齋員著席

次 修 祓

次 降 神

次 幣物ヲ供ス

次 齋主祝詞ヲ奏ス

次 齋主祭詞ヲ奏ス

次 齋主玉串ヲ奉リテ拜禮

次 齋員拜禮

次 祭主玉串ヲ奉リテ拜禮

次 京都府知事玉串ヲ奉リテ拜禮

次 京都市長玉串ヲ奉リテ拜禮

次 染織講社理事長玉串ヲ奉リテ拜禮

次 染織講社評議員代表玉串ヲ奉リテ拜禮

次 式典委員長玉串ヲ奉リテ拜禮

次 祭事委員長玉串ヲ奉リテ拜禮

次 來賓玉串ヲ奉リテ拜禮

次 參加各團體代表者玉串ヲ奉リテ拜禮

次 神饌ヲ撤ス

次 昇 神

次 諸員退下

菅 搔 一同起立

此間奏樂

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

一同起立

商工會議所会頭

京都府知事

京都市長

染織講社理事長

染織講社評議員代表

式典委員長

祭事委員長

來賓

參加各團體代表者

神饌

昇 神

諸員退下

カケマクモカシコヤアメイダバリーデーオホカミナノオホズニ

掛 麻久母 畏 伎

天棚機姫大神等 乃大前 爾 染織講社會長京都市長從三位

勳三等

市村慶三

恐 美 恐 美 毛

白 左久

大神等

乃 遠都

神代 爾

事始 米

給 比志

ハタオリソメモノ

ノザノトシフル

エニマニ

タタサエ

エニク

アツマ

ミタエ

エニカ

ミツリ

機織染物

乃業

乃歲經

留任 爾

立業 衣

行久 深

伎厚 伎

恩頼 乎

辱美 奉

里 氏 御

クニノウケニ

モレガ

コザノ

モトツト

トナニ

オヒテ

タタハシ

クミ

キヤ

ミヤト

國 乃中

爾毛

斯我

業乃

本都

所登

名 爾

貢 比 氏

山麗

志久

乃春

乃最

中乃

今日

志毛

例乃

任 爾

此乃

齋場

爾殿

乃春

乃最

中乃

今日

志毛

例乃

任 爾

此乃

齋場

爾殿

乃春

乃最

中乃

今日

志毛

例乃

任 爾

此乃

齋場

爾殿

氏

拜 美 奉

里又

遠伎

御代

與里

近 伎

御代

爾至

留麻

傳科

染 織 講 社

キヨホニ

シヨ

クサガ

ニウ

シツ

ク

オホ

ズニ

ナリ

テ

着 裝

比志

乎種

々爾

模志

製里

大前

爾近

久陳

列米

登 爲

留狀

乎平

介久

安介

久諾

比聞

食志

氏今

以後

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

給 比

氏斯

乃業

乃人

々各

毛各

毛携

卒事

無久

怠留

供 饋 申 込 者 表
鏡餅ノ部

申 込 者	鏡ノ大イサ	依託 直營	三方 新舊	住 所	電 話
京都織物株式會社	一斗五升	依託	新	左京區吉田下阿達町	
百貨店組合京都部會					
丸物 高島屋 大森井大丸	二斗		舊	下京區烏丸通七條下丸物内	下八七二一
西陣着尺織物工業組合	一斗五升		舊	上京區今出川通淨福寺西入	西三一五四
丹後縮緬工業組合	一斗五升		舊	京都府中郡峰山町	峰山 七〇
日本紡織通信社京都支局	一斗五升		舊	烏丸通五條南入	下四四四〇
日本織物新聞社京都局	一斗五升		舊	烏丸通佛光寺北	下二八八三
染織日出新聞社	一斗五升		舊	中京區烏丸通興川上ル	上 二五
西陣織物工業組合	一斗五升		舊	上京區今出川通大宮東入	西 三二〇
染 織 講 社					
京都染物同業組合	一斗五升	依託	舊	四條通西洞院	本一九六六
關東織物卸商業組合	一斗五升		舊	烏丸通蟬樂師下ル	本四二二二
日本染織見本市協會總裁	一斗五升		舊	烏丸通蟬樂師下ル	本四二二二
日本染織見本市協會	一斗五升		舊	"	"
三越京都支店	一斗		舊	室町通二條上ル	上 三〇五
祇園甲部遊廓	七升		舊		
祇園乙部遊廓	"		舊		
先斗町遊廓	"		舊		
宮川町遊廓	"		舊		
上七軒遊廓	"		舊		
北新地東部遊廓	"		舊		

供 饌 申 込 者 表

酒 及 其 他 ノ 部

申 込 者	種 別	依託 直接	數量	住 所	電 話
大日本麥酒株式會社大阪支店 京都出張所	特製サヒビール	直接	二打入 二箱	河原町通四條南入 壽ビル三階	下四〇一七
山田長 左衛門 酒店	嶋台一升壺	"	一〇本	東洞院通御池南	本五、四三〇 五四三一
堀野久造商店京都支店	キンシ正宗	"	一斗	堺町三條上	本四四一九
大倉 京 都 支 店	月 桂 冠	"	一斗	中京區六角東洞院 東入	本一一二二〇
石崎株式會社京都支店	澤之鶴	"	一斗	下京區烏丸四條 南入	下一、七一〇 一七一〇
若 狹 屋 茂 弘 菓 子	"	"	二〇〇ヶ	三條堀川東入	本六、六五一

染 織 講 社

(本上印行)

二
四

昭和 年 月 日決裁 昭和 14 年 4 月 11 日發行
昭和中四年四月十日起案 起案者 校合者

會長 副會長 理事長 常任理事 理事 幹事

請社員募集委員に對し挨拶状

安永

拝啓 愈々清邁年 咲き 際者先般本
諸社員募集委員に對しは御多用中にも不
拘多ク御方配に賜り以御蔭を豫定
以上好成績を導き致之れ全く各位御
方力の賜に深く感謝に能はるは誠には
錦御厚礼に上告の如く思係以寸楮
右御挨拶に上る如く御清々

稟議用紙

染織講社

年 月 日

理事長

花

敬具

萬乃集委員止宛

此の御挨拶の如く御挨拶に上る如く思係以寸楮
御都合に上る如く思係以寸楮
贈呈に上る如く思係以寸楮

大甲堂所西

堂所仙安寺上

今出川大堂所入

今出川學務寺

新川田寺上

四糸西陽邊寺

烏丸田寺上

堂所仙安寺上

堂所田寺上

以上

株式會社美濃利商店

市田商店

西陣織物工業組合

西陣書人織物工業組合

糸柳織物部同業日業組合

糸柳織物部同業組合

合所丸江商店

市田商店

市田商店

佐友時次郎

山川乙次郎

少西条次郎

北川治次郎

少林美樹次郎

小倉良之助

中村周二

杉里巳之助

梶田杉太郎

町中根合

加茂宗太郎
梁織講社

外部関係 係 一三九個

社商二係 二五個

金議所 一〇個

見本市協同會
主幹職部同協同書院
三六個

平安祥官 五個

公舍 九個

川務署(坂土所共) 一〇個

美街館(主事他) 五個

勸物園(園長他) 五個

孝若應援者 一四個

京都市

市役所内 二五四個

在席局部係長 年俸者 四〇個

秘書係 一二個 市合事務局 九個

職員係 一〇個 市合事務局 一八個

庶務係 三〇個 用務係 二個

財務係 二〇個 商品係列係 二一個

親光係 八個 後員係 係員若年不足付若二個他

農林係 一一個 多教 二九名 五八個

市場係 九個 配膳 七名 六個

農舍 六個

地硯係 五個

常備係 五個

經理係 一一個 合計 三九三個

45

昭和14年4月15日決裁	昭和14年4月15日發行	淨寫者	校合者
昭和14年4月15日起案	起案者		

會長
副會長

理事長

常任理事
理事

幹事

伺

補助金請求書

一人是參千圓也

但昭和十四年四月五日市指令收廣南九七等津貼金事業費補助金

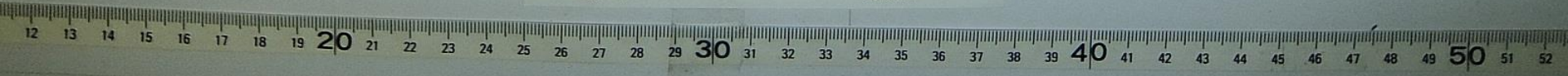
右請求書

稟議用紙 染織講社

4月 10日

染織講社會長

京都市長



京都市指令收産商第五九六號

染織請社

會長 市 村 慶 三

昭和十三年十二月二十三日附申請染織祭事業費へ左ノ條
件ヲ附シ金參千圓也ヲ補助ス

昭和十四年四月十一日

京都市長 市 村 慶



記

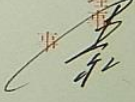
一補助金參千圓也ハ昭和十四年舉行ノ染織祭々典並ニ時代風俗畫展覽
會ノ經費ニ充當スベシ

二經費收支決算報告書ハ昭和十五年一月末日迄ニ提出スベシ

三前各項ニ違背シ又ハ事業經費ヲ著シク減ジタルトキハ補助金ノ全部
又ハ一部ヲ返還セシムルコトアルベシ

二
六

昭和 14 年 4 月 22 日 起案	昭和 14 年 月 日 決裁	昭和 年 月 日 發行	淨寫者	校合者
昭 和 14 年 4 月 22 日 起案				

會長 副會長	理事長 	常任理事 	幹事
-----------	--	---	----

伺

評議員 (村山 隆治)
佐々木 敏 (佐々木 敏)

右西 今般 軒任 西 昭和 十三年 以来
毎年 深織 糸 豊 自 際レ 多 大 播 助 シ 賜
リ 又 付 在 職 中 記 后 ト 一 元 記 記 忘 品 贈

稟議用紙 染織講社

呈 送 部 長 裁

記

金 参 拾 四 圓	金 参 拾 四 圓	地 一 反	一 反
-----------	-----------	-------	-----



二
七

昭和 年 月 日決裁 昭和 年 月 日發行 淨寫者 校合者
昭和 年 4 月 22 日起案 起案者

會長
副會長
理事長
常任理事
理事
幹事

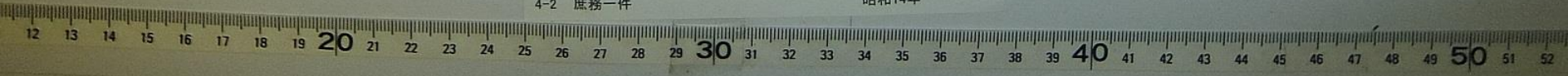
諸社員合組金銀収証交付件
年 日 係 織 講 社

秩父織物工業組合宛

押 啓 本講社昭和十四年分諸社員合組金
機金外一報方未都又店派小切手金立格内

稟議用紙 染 織 講 社

印送金、限り印金、教、改、年、第、計、支、別、紙、収、
収、証、記、名、操、作、上、存、河、送、付、金、敬、具、



計 算 書

事第 號 昭和 16 年 6 月 19 日

埼玉縣秩父町
秩父織物工業組合

拜啓毎々御引立ニ預リ難有御禮申上候

陳者下記之通り 金 貳 圓 〇 錢也本日 銀行宛
小切手 葉御加封御送附申上候間貴着御查收之上折返シ受領証御送附被下度
先ハ右御案内申上候

[illegible]

通信欄

二八



發第

貳〇五號

昭和十四年四月廿一日

京都商工會議

染織講社會長
市村慶三殿

拜復 御申出ノ貴講社昭和十四年度事業ニ對シ補助金トシテ金五百圓交付ノコ
トニ決定候條此段及御通知候也

追而右金額今月廿八日當所會計ヨリ御受取被下度候

理
子
長

常任理事

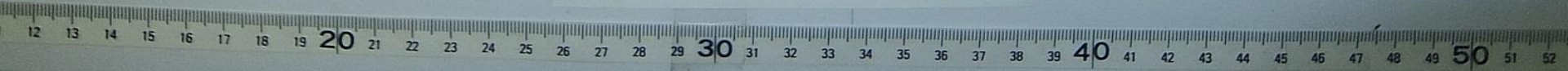
理
子
長

出



京都商工會議所

日本標準規格 B5 (182×257mm)



五
九

昭和 年 月 日決裁
昭和 年 月 日發行
淨寫者
校合者

會長
副會長

理事長 代

常任理事
理事

幹事

會計部 報告書 1 件
本講社 會計部 報告書 1 件
本講社 會計部 報告書 1 件
本講社 會計部 報告書 1 件

記

高田課 庶務係

西村文雄

稟議用紙

染織講社

報告書

本講社 會計部 報告書 1 件

年 月 日

染織講社

西村文雄 敬

昭和十四年四月廿七日 決議

昭和十四年五月三日 日發行

淨寫者

校合者

昭和十四年四月廿四日起案

起案者

會長

副會長

理事長

常任理事

理事

幹事

評議員囑託一件

謹啓 愈々清泰なるを以て 昨日本講社に去る
昭和六年二月別改題意を以て下の組織し毎年
陽春の季とトし 組織を以て改題を就ては
夫下と本講社評議員の囑託に上るを以て
仰るなり、仰承或心の至るを以て 仰承を以て
本講社に其の建てるを以て 仰承を以て 仰承を以て
依頼を以て 仰承を以て 仰承を以て 仰承を以て

稟議用紙

染織講社

年

染織講社

京都市長

名

鈴木備藏

(村田部七)

小菅芳次

(村田部七)

昭和十四年五月四日決裁
昭和十四年四月廿四日起案
昭
起案者
淨寫者
校合者

會長

副會長

理事長

常任理事

理事

幹事

名譽會長推戴ノ件

謹啓
先般、昭和六年三月別紙抗議より下へ組織し毎年陽春の季をトし染織系を興へて致し、就中規約より染織系に依り閣下を名譽會長と推戴致し、今更ニ染織系に依り閣下を名譽會長と推戴致す。此の如き事、本講社に於て是れ初めてあり、是れは本講社の榮光に資するものと存じます。此の如き事、本講社に於て是れ初めてあり、是れは本講社の榮光に資するものと存じます。此の如き事、本講社に於て是れ初めてあり、是れは本講社の榮光に資するものと存じます。

稟議用紙

染織講社

年 月 日

染織講社會長

京都市長

名

赤松小寅殿 (付知す)

染織講社趣意書(草案)

染織ニ關スル技術ハ世界各國ヲ通シ其淵源極メテ古ク我國ニ於テモ原始時代ニ既ニ其道ノ開ケテリシハ想像ニ難カラサル所ニシテ其後歷世文化ノ影響ト洗練陶治トヲ經テ漸次發達ノ域ニ進ミ殊ニ近代科學ノ進歩ハ機械ノ應用ヲ促進シ以テ今日ノ隆盛ヲ見ルニ至レリ染織業ハ今ヤ我國産業ノ樞位ヲ占メ其消長ハ國家及國民經濟上極メテ重大ナル關係ヲ有スルニ至リタルハ多言ヲ要セサル所ナリ抑々斯業ノ淵源ハ遠ク神代ノ昔ニ發セルハ明カニシテ吾人ハ始メテ染織ノ道ヲ拓キ之ヲ後世萬民ニ傳ヘ給ヒシ染織諸祖神ノ神恩ノ宏大無邊ナルヲ思ハサルヲ得ス殊ニ木府ニ於ケル産業ハ染織及之レニ關聯セルモノ其ノ樞軸ヲ占メ直接及間接之ニ依リテ生活スル者他地方ニ比シ實ニ多大ニシテ前記諸神ノ神恩ニ浴スルノ程度亦一層深シト謂ハサルヘカラス

然ルニ由來我京都ニハ四季ヲ通シ各神社ノ盛儀ナル祭事行ハレツ、アリト雖モ未タ府民ニ最モ關係深キ染織祖神ニ感謝ノ意ヲ捧クヘキ祭祀ニ乏シカリシハ誠ニ識者ノ深ク遺憾トセシ所ナリ依ツテ茲ニ有志相諮リ左記規約ニ依リ染織講社ノ設立ヲ發起シ毎年陽春ノ季ヲトシ染織祭ヲ行ヒ以テ我國染織諸祖神ノ御神徳ヲ宣揚シ其ノ洪恩ノ萬分ノ一二報スル所アラムトス

翼クハ大方ノ諸賢翁ヲ本講社ニ趣意ニ翼賛加盟セラレ以テ其ノ所期ノ目的ヲ達成セシムル爲協贊アラフコトヲ

祭神

天棚機姫神	天羽槌雄神
天日鷲神	長白羽神
津昨見神	保食神
楊幡千千姫命	吳織女(合祭)
漢織女(合祭)	

染織講社規約

(昭和六年二月十六日設立)

- 第一條 本講社ハ染織講社ト稱ス
- 第二條 本講社ハ染織祖神ノ神徳ヲ宣揚シ敬神尊祖ノ美風ヲ涵養スルヲ以テ目的トス
- 第三條 本講社ハ前條ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ事業ヲ行フ
 - 一、染織祭ノ舉行
 - 二、前項ト關聯スル施設

第四條 本講社ハ本部ヲ平安神宮内ニ置ク

第五條 本講社ハ第二條ノ目的ヲ翼賛スル者ヲ以テ之ヲ組織ス

第六條 本講社員ヲ左ノ三部ニ分ツ

第一部 染織業者ノ團體

第二部 染織ノ關係アル團體

第三部 特ニ本講社ノ事業ヲ翼賛スル者及其ノ團體

第七條 本講社ニ加盟セントスル者ハ其ノ氏名(團體ニ在リテハ代表者ノ氏名及團體員數)ヲ記載シタル書面ニ依リ其ノ旨本會ニ申込ムヘシ前項ノ申込ヲ受ケタルトキハ會長ハ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ諸否ヲ定ム

第八條 本講社ニ左ノ役員ヲ置ク

會長	一名
副會長	一名
評議員	若干名
理事長	一名
常任理事	六名
理事	若干名

第九條 會長ハ京都市長、副會長ハ京都府商工會議所會頭トス

評議員及理事ハ會長之ヲ委嘱ス

理事長ハ京都市助役、常任理事ハ京都染物同業組合代表者、西陣織物同業組合代表者、日本染織物見本市協會代表者、京都府商工水産課長、京都市産業課長、京都商工會議所事業課長ヲ以テ之ニ充テ會長委嘱ス

第十條 本講社ニ名譽會長及顧問ヲ置クコトヲ得

名譽會長ハ京都府知事ヲ推戴シ顧問ハ評議員會ノ承認ヲ得テ會長之ヲ屬託ス

第十一條 會長ハ本講社ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

評議員ハ講社ノ機務ニ參與ス

理事ハ會長ノ指揮ヲ承テ機務ヲ處理ス

第十二條 役員ハ凡テ名譽職トス

第十三條 本講社ノ會議ハ評議員會及理事會ノ二種トス

評議員會ハ毎年一月會長之ヲ招集ス、但シ臨時必要アルトキハ其ノ都度之ヲ招集ス

理事會ハ會長ニ於テ必要ト認メタルトキ之ヲ招集ス

第十四條 評議員會及理事會ノ議決事項左ノ如シ

評議員會

一、規約ノ變更

二、豫算ノ議決及決算ノ承認

三、機務ニ關スル報告ノ承認

理事會

一、事業ノ執行ニ關スル事項

二、評議員會ニ附議スベキ事項

三、會長ニ於テ必要ト認メタル事項

第十五條 本講社ノ經費ハ各講社員ノ分擔額出シタルモノ及寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第十六條 本講社ノ會計年度ハ曆年ニ依ル

第十七條 本規約ノ施行ニ必要ナル細則ハ評議員會ノ議決ヲ經テ會長之ヲ定ム

五月十六日午後二時（白家）於市常任理事會

望所仙光寺上市田商店山川乙次郎氏

今出川大官東入西陣織物事業組合長谷川市三氏

鳥丸田四糸下上九紅糸都支店矢守治太郎氏

室町通四糸下上安永商店岡田留二郎氏

室町通四糸上吉田忠商店岩村史郎氏

油小路通方角下上八木伴三郎氏

室町通四糸上坂市宗成氏

小泉 照氏

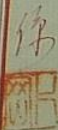
中村隆太郎氏

室町通四糸上美森屋子郎氏

染織講社

室町通四糸上

常任理事



代官共計五名

染織糸令器具使用規程

一 使用口時

昭和十四年五月十七日午前十時より
昭和十四年五月十七日午後一時迄

一 使用場所

京都府大京町村石作十左衛門屋敷

一 使用目的

昭和十四年五月十七日午後一時迄
京都府大京町村石作十左衛門屋敷

工事起工糸

一 使用糸器名

神能台一台 神能糸一台

玉串糸一台 三寶糸一台

土器一式 土板

一 使用責任者

京都府神職會本部

左 右 借使改修工事可成候事此致

昭和十四年五月

京都府神職會



染織糸令器具使用規程三版

凡

一、中、能、名、名、名

一、那、供、第、公、名

一、玉、半、第、公、名

一、三、寶、始、公、名

一、岳、麓、五、枚

一、教、持、指、公、名

一、納、子、五、枚

一、大、土、器、八、枚

一、小、土、器、四、枚

一、水、入、五、個

一、塩、入、五、個

右、器、具、受、取、口、也

昭和十四年三月十六日

京都府神職會



京都府神職會

京都府神職會

五
五

昭和 年 月 日決裁 昭和拾四年五月拾八日 淨寫者 校合者

昭和十四年五月十八日起案 起案者

會長 副會長 理事長 代理 常任理事 幹事

昭和十四年分收入及赤字之要之件
中一問報告書送付一件

昭和十四年分
日本常任理事
國庫理事
赤松 織講社
赤松 織講社
赤松 織講社

稟議用紙 一 染 織 講 社

年分講社收入及赤字之要之件
報告別紙送付一件

昭和十四年度染織講社收入豫算中間報告

收入

科目	本年度 豫算額	收入 額	收入見込額	計	増△減	説明
分講 社員 金	六六五〇 圓	七九三〇 圓	一五〇〇 圓	八〇八〇 圓	一四三〇 圓	個人三三二口六八 團體一五五 各種宣傳會 市三〇〇〇〇圓 會五〇〇〇〇圓
補助 金	六三〇〇	三九〇〇	五〇〇〇	四〇〇〇	二三〇〇△	
前年 繰越 金	一〇〇〇	二六二〇		二六二〇	一六二〇	
雜 收 入	一〇	三二	五〇〇	八二	七二	
合 計	一三九六〇	一四〇八三 七三	二〇〇七 〇〇	一四七八五 七三	八二三 七三	

昭和十四年四月祭事ニ要シタル諸費中間報告

式典費

支 出

一、三〇五圓四〇

譯

二〇五〇

式典委員會費用

九五五、九〇

神殿建設費及設備

一七〇、〇〇

京都府神職會支拂

一三二、〇〇

御供物 一、二〇〇個

二七、〇〇

徽 章 一箱、一一錢

祭事費

二、七〇六圓六〇

譯

四六六〇

講社員申込書 全依頼書 待遇方法 印刷代

二八〇〇

案内狀印刷代 封筒共

五〇、〇〇

講社員名簿印刷代

三、〇〇

式次第書印刷代

四五、〇〇

郵便切手代

一、三八〇、〇〇

折詰 一、二〇〇個代 一個 一圓五錢

四二〇、〇〇

瓶酒 一、二〇〇本代 一本 三五錢

一九二、〇〇

風呂敷 一、二〇〇枚 一枚 一六錢

五四二、〇〇

祭事關係者謝禮及應援者慰勞、傭人料、傭車料、係員辨當、消耗品

雜支出

一、三二〇圓五六

譯

一八七六

見本市案内狀 講社員送付ノ郵税

三〇〇、〇〇

展覽會會場設備トシテ見本市協會へ

三五、一〇

展覽會會場 看守人給料 説明書用紙 其他雜費

一五、一〇

講社員募集委員其他關係者へ贈呈 都通特等券

一五、〇〇

出雲路氏へ八時代風俗畫説明書謝禮

一八〇、〇〇

荒木伊助外二名へ十三年度下半期衣裳保管料

六一〇、五〇

講社員募集手數料 一、二二一口分 一圓

昭和十四年度個人講社員募集狀況

組 合 名	十四年度 割當數	十四年度 申込數	十四年度 收入金額	十四年度 手數料	十四年度 實收入
京都織物卸問屋同業組合 染吳服部	三八〇	五五八	二七九〇	二七九〇	二五一〇
西陣織物部	二〇〇	二六九	一三四五	一三四五	一三一〇
人絹白生地部		二〇	一〇〇	一〇〇	九〇〇
“(京都生絹縮緬卸商業組合) 絹布白生地部	五〇	二〇	一〇〇	一〇〇	九〇〇
綿織物部	四〇	五一	二五五	二五五	二二九
半襟部	三〇	三〇	一五〇	一五〇	一三五〇
關東織物卸商業組合	五〇	五二	二六〇	二六〇	二三四〇
西陣織物工業組合	一三〇	一三三	六六五	六六五	五九八
西陣着尺織物工業組合	三〇	二九	一四五	一四	一三〇
京都洋傘シヨール卸商業組合 京都洋反物商組合	三〇	三三	一六五	一六	一四八

京都染物同業組合	六〇	二六	一三〇	一三	〇〇	一一七	〇〇
丹後縮緬工業組合	!	五	二五	!		二五	〇〇
其他		六	三〇	!		三〇	〇〇
計	一〇〇〇	一二三二	六一六〇	六一〇	五〇	五五四九	五〇

團體講社員申込狀況

團體名	割當額	收入額	増	減
丹後縮緬工業組合	五〇圓	五〇圓		
日本染織物見本市協會	五〇	五〇		
京都關東織物卸商業組合	五〇	五〇		
西陣織物工業組合	五〇	五〇		
西陣着尺織物工業組合	五〇	五〇		
京都織物卸問屋同業組合	五〇	五〇		
京都染物同業組合	五〇	五〇		
京染吳服悉皆同業組合	五〇	五〇		
京都蠶糸商同業組合	五〇	五〇		
京都織物輸出組合	五〇	五〇		
百貨店商業組合京都支部	五〇	五〇		
小松織物同業組合	五〇	五〇		

福井縣織物同業組合	五〇	五〇		
秩父織物工業組合	五〇	五〇		
はとや百貨店	〇	五〇		
京都スワ擦染工業組合	五〇	〇		
計	七五〇	七五〇		

特別分擔金				
日本染織物見本市協會	四〇〇	四〇〇		
西陣織物宣傳大會	一五〇	未收入		
京染北陸縮緬宣傳會	一六五	一八〇		
十日町織物宣傳會	五五	一〇〇		
京染丹後縮緬宣傳會	一三〇	三四〇		
計	九〇〇	一、〇二〇		
合 計	一、六五〇	一、七五〇		

昭和 年 月 日決裁
昭和四年五月十九日起案

起案者

淨寫者

校合者

會長

副會長

理事長

常任理事

理

事

理事長陳託一件

謹啓 敬請 貴社 大 啓 事 陳 是 本 講 社 是 去 年 昭 和 六 年 三 月 別 紙 執 意 申 下 之 組 織 し 毎 年 陽 春 の 季 を ト し 漆 織 業 を 興 行 致 是 義 然 是 規 約 第 九 条 二 項 の 條 下 在 理 事 長 及 即 陳 託 申 下 之 事 務 局

票議用紙

染織講社

此 中 一 部 漆 織 業 の 事 々 存 在 若 々 業 諸 社 下 本 講 社 事 業 遂 成 之 為 申 下 之 配 我 々 外 部 申 下 之 事 務 局

漆織講社 會長
理事 長

京都市助役 (菊山嘉弘男)

室町三木下

寺代仁商店

西陣部 (九十九日分)

室町四木下

嶋頼商店

津多物 (十三日分)

室町踏草師下

細田商店

半蔵部 (三十一日分)

半蔵部 (三十一日分)

染織講社

衣棚三木下

京都生信織細部商業組合

絹皇地部 (十日分)

室町踏草師下

山本仁商店

人絹日光地部 (三十日分)

人絹日光地部 (三十日分)

竹内清次郎宛

四十七日分

須田蓋之宛

六日分

和田一郎宛

十五日

野指作公宛

十日

山本仁三郎

十日

昭和 年 月 日決裁 昭和 14 年 5 月 29 日發行 淨寫者 (朱) 校合者

昭和十四年五月廿九日起案

起案者

會長

副會長

理事長

代

常任理事

理

事

幹事

講社轉請件

本講社轉請件

年 月 日

染織講社合平

水谷栄一 宛(府商部宛)

稟議用紙

染織講社

拝公 會 申 請 書 事 宜 茲 際 は 本 講 社 は 有 限 公 司 年
二 月 別 紙 註 意 書 上 の 又 組 織 上 毎 年 陽 春 の 季 に 上 じ
染 織 系 を 興 行 致 意 致 意 上 枕 上 は 出 下 を 本 講 社 幹
事 上 申 請 書 上 上 申 請 書 上 申 請 書 上 申 請 書 上 申 請 書 上
議 事 本 講 社 の 有 限 公 司 力 知 し ぬ 故 依 頼 中
と ぞ 敬 具

年 月 日

合 平

水谷栄一 宛

三九

京都府指令三商第四五一六號

染織講社會長 市 村 慶 三

昭和十三年十二月廿三日申請補助金交付ノ件承認シ本年度ニ於テ
金五百圓ヲ補助ス仍テ左ノ通心得ベシ

昭和十四年六月六日

京都府知事 赤松 小 寅



河 手 長 八

常任理事

河 手 長 八

河 手 長 八

日本標準規格JIS (182 × 257mm)

京都市議會 庶務課 小 寅

昭和十四年六月六日

金正百圓に納税スルモノ、取心算シ

昭和十三年十二月廿三日申納納金交付ノ件承認シ本年翌年納税

京都市議會 庶務課 小 寅

京都市議會 庶務課 小 寅

京 都 府

- 一 補助金ハ本年度ニ於テ染織祭執行費ニ充當スベシ
- 二 經費決算及執行ノ狀況ハ年度經過後遲滞ナク報告スベシ
- 三 前各項ノ一ニ違背シ反ハ經費ヲ著シク減額シ其ノ他補助金ノ費途ニ關シ不都合ノ所爲アリト認メタルトキハ補助金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

昭和 年 月 日決裁 昭和 年 月 日發行 淨寫者 校合者

昭和中四年六月十四日起案 起案者

會長
副會長

理事長

常任理事

理事

事務

理事會決議件

本府社會部課長久記通文決 三六付新任者
對之奉講社理事會決議件 五五成

記

府社會部課長 田村義雄

奉託會案

稟議用紙

染織講社

本講社理事會決議件 中上ノ也

昭和 年 月 日

染織講社會長

京都市 長 倉

田村義雄

中二案

揮啓 今賜中書様より誤り加筆 際本講
社は去年昭和六年二月別紙款意書の下に組
織し毎年陽春の会をトし染織奉を掌

染織講社趣意書

染織ニ關スル技術ハ世界各國ヲ通シ其淵源極メテ古ク我國ニ於テモ原始時代ニ
既ニ其ノ道ノ開ケタリシハ想像ニ難カラサル所ニシテ其後歷世文化ノ影響ト洗
練陶冶トヲ經テ漸次發達ノ域ニ進ミ殊ニ近代科學ノ進步ハ機械ノ應用ヲ促進シ
以テ今日ノ隆盛ヲ見ルニ至レリ染織業ハ今ヤ我國産業ノ樞位ヲ占メ其消長ハ國
家及國民經濟上極メテ重大ナル關係ヲ有スルニ至リタルハ多言ヲ要セサル所ナ
リ抑々斯業ノ淵源ハ遠ク神代ノ昔ニ發セルハ明カニシテ吾人ハ始メテ染織ノ道
ヲ拓キ之ヲ後世萬民ニ傳ヘ給ヒシ染織諸祖神ノ神恩ノ宏大無邊ナルヲ思ハサル
ヲ得ス殊ニ本府ニ於ケル産業ハ染織及之レニ關聯セルモノ其ノ樞軸ヲ占メ直接
及間接之ニ依リテ生活スル者他地方ニ比シ實ニ多大ニシテ前記諸神ノ神恩ニ浴
スルノ程度亦一層深シト謂ハサルヘカラス
然ルニ由來我京都ニハ四季ヲ通シ各神社ノ盛儀ナル祭事行ハレツ、アリト雖モ
未タ府民ニ最モ關係深キ染織祖神ニ感謝ノ意ヲ捧クヘキ祭祀ニ乏シカリシハ誠
ニ識者ノ深ク遺憾トセシ所ナリ依ツテ茲ニ有志相諮リ左記規約ニ依リ染織講社
ノ設立ヲ發起シ毎年陽春ノ季ヲトシ染織祭ヲ行ヒ以テ我國染織諸祖神ノ御神德
ヲ宣揚シ其ノ洪恩ノ萬分ノ一二報ニル所アラトス
冀クハ大方ノ諸賢奮ツテ本講社ノ趣意ニ賛贊加盟セラレ以テ其ノ所期ノ目的ヲ
達成セシムル爲協賛アランコトヲ

祭 神

天 ^{アマ} 棚 ^{タナ} 機 ^{ハタ} 姫 ^{ヒメ} 神	天 ^{アマ} 羽 ^ハ 槌 ^ヰ 雄 ^ヲ 神
天 ^{アマ} 日 ^ヒ 鷲 ^ノ 神	長 ^{ナガ} 白 ^{ハク} 羽 ^ハ 神
津 ^ツ 昨 ^ノ 見 ^ミ 神	保 ^ホ 食 ^シ 神
栲 ^{カサ} 幡 ^{フナ} 千々 ^{チチ} 姫 ^{ヒメ} 命	吳 ^ニ 織 ^{オリ} 女 ^メ (合祭)
漢 ^{カン} 織 ^{オリ} 女 ^メ (合祭)	

染織講社規約

(昭和六年二月十六日設立)

- 第一條 本講社ハ染織講社ト稱ス
- 第二條 本講社ハ染織祖神ノ神德ヲ宣揚シ敬神尊祖ノ美風ヲ涵養スルヲ以テ目
的トス
- 第三條 本講社ハ前條ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ事業ヲ行フ
 - 一、染織祭ノ舉行
 - 二、前項ト關聯スル施設

- 第四條 本講社ハ本部ヲ平安神宮内ニ置ク
- 第五條 本講社ハ第二條ノ目的ヲ實現スル者ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第六條 本講社員ヲ左ノ三部ニ分ツ
 - 第一部 染織業者ノ團體
 - 第二部 染織ト關係アル團體
 - 第三部 特ニ本講社ノ事業ヲ賛養スル者及其ノ團體
- 第七條 本講社ニ加盟セントスル者ハ其ノ氏名(團體ニ在リテハ代表者ノ氏名
及團體員數)ヲ記載シタル書面ニ依リ其ノ旨本會ニ申込ムヘシ前項ノ申込ヲ
受ケタルトキハ會長ハ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ諾否ヲ定ム
- 第八條 本講社ニ左ノ役員ヲ置ク

會 長	一 名
副會長	一 名
評議員	若干名
理事長	一 名
常任理事	六 名
理 事	若干名
- 第九條 會長ハ京都市市長、副會長ハ京都商工會議所會頭トス
評議員及理事ハ會長之ヲ委嘱ス
理事長ハ京都市助役、常任理事ハ京都染物同業組合代表者、西陣織物同業組
合代表者、日本染織物見本市協會代表者、京都府商工本課課長、京都市産業
部長、京都商工會議所事業課長ヲ以テ之ニ充テ會長委嘱ス
- 第十條 本講社ニ名譽會長及顧問ヲ置クコトヲ得
名譽會長ハ京都府知事ヲ推戴シ顧問ハ評議員會ノ承認ヲ得テ會長之ヲ囑託ス
- 第十一條 會長ハ本講社ヲ總理ス
副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス
評議員ハ講社ノ機務ニ參與ス
理事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ講社ヲ處理ス
- 第十二條 役員ハ凡テ名譽職トス
- 第十三條 本講社ノ會議ハ評議員會及理事會ノ二種トス
評議員會ハ毎年一月會長之ヲ招集ス、但シ臨時必要アルトキハ其ノ都度之ヲ
招集ス
理事會ハ會長ニ於テ必要ト認メタルトキ之ヲ招集ス
- 第十四條 評議員會及理事會ノ議決事項左ノ如シ
 - 一、規約ノ變更
 - 二、豫算ノ議決及決算ノ承認
 - 三、講務ニ關スル報告ノ承認
- 第十五條 理事會
 - 一、事業ノ執行ニ關スル事項
 - 二、評議員會ニ附議スベキ事項
 - 三、會長ニ於テ必要ト認メタル事項
- 第十六條 本講社ノ經費ハ各講社員ノ分擔額出シタルモノ及寄附金其ノ他ノ收
入ヲ以テ之ニ充ツ
- 第十七條 本講社ノ會計年度ハ曆年ニ依ル
- 第十八條 本規約ノ施行ニ必要ナル細則ハ評議員會ノ議決ヲ經テ會長之ヲ定ム

阿子

常任

理

保

家

合掌

高堂愈々御多祥之段奉慶賀候
陳者父嘯谷死去之節は御懇篤
なる御弔問を辱く致し且つ御
鄭重なる御供物頂戴仕り剩へ
御多忙中遠路態々御會葬被下
御芳志誠に難有奉謝候
御蔭を以て萬事無滯本日忌明
仕候に付ては一應拜趨觀しく
御禮可申上筈之處乍略儀以書
中御挨拶申上度如斯御座候

敬具

一

追伸

本日忌明に際し御公供養の微意を表し度
が本意に御座候へ共時節柄別記に代へ基
に勝手仕り候段不悉御思召相成度候

昭和十四年七月 日

猪飼俊一

染織満社 中

六月十六日

龍光院敬真嘯谷居士

滿中院

供養

出征軍人道家族接護事業費中へ
金七百圓也
方面委員會貧困者救濟事業費中へ
金參百圓也

以上寄附

昭和 年 月 日決裁 昭和 年 月 日發行 淨寫者 校合者

昭和十四年七月廿四日起案

會長

副會長

理事長

理事

常任理事

理事

市公會堂東館一部并構内地一部并料
使用、件申請

年 月 日

長 免 漆織講社會長

稟議用紙

榮 織 講 社

用トニテ使用致有云日本講社并業即
援助、思召ラ以テ例年、通左記、則
日長料使用、来事許可於市、然
改申請、要、

記

使用期日 構内地(元東館跡) 且、前、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、月、日、

東館階下一室 一日

此、市、公、會、堂、東、館、日、時、決、裁、以、件、改、大、テ、申、請、可、致、云、其、
市、公、會、堂、東、館、日、時、決、裁、以、件、改、大、テ、申、請、可、致、云、其、

4.1

常任

陳

俾

(印)

(印)

白馬中

先師猪飼甫谷先生は在りて
雖も中絶せしれども彼れが
師他界に於ては就ては本然に解散
之解る中絶なりと通ずる也
昭和十四年八月十日

猪飼甫一筆

昭和十四年九月四日決裁
昭和十四年九月四日起案

昭和十四年九月七日發行
起案者

淨寫者

校合者

會長

副會長

理事長

代

常任理事

理事

幹事

西村文

常任理事陳訖一件

お給物々冷氣お加りそそ又喜々
健う飯々湯加々々陳者々股々付
商工課々々市常々報の款以祝詞
P上々

社々本講社規約々修り表下を講

稟議用紙

染織講社

社常任理事々々陳訖中上々白以
飯々修中一以建或の表々存々共
以系求諸々市下本講社々々其
成のめ々市高銀れ贈反別紙陳訖
書々規的丸係入市修賴々得々
意心々々敬具

年日

染織講社社長

市部市々名

土屋雷院宛 (村岡課々)

昭和十四年九月十八日
昭和中倉庫
拾八
日決裁

昭和中倉庫
拾八
日決裁
發行

淨寫者
校合者

昭和十四年九月十八日起案

起案者

會長

副會長

理事長

代

常任理事

理事

幹事

西村

市運動場材料使用一件

年月日

市長

市長

市

昭和十四年四月十八日
漆織榮興行

稟議用紙

染織講社

予定、有、一、付、八、例、年、通、固、崎
公園市運動場九記期、各材料使用
一、系、即、許、可、中、中、改、奉、願、矣
也

記

一使用期

昭和十四年四月二日、八月八日迄
七日

出席
可部七代中
欠席
河内七代中
川橋七代中

欠席
内山 七代中

出席
山七代中
欠席

昭和 年 月 日 決議 昭和 年 月 日 發行 淨寫者 校合者

昭和 年 十月 日 起案者

會長
副會長

理事長 代

常任理事
理事

幹事

産業委員招待ノ件

年 月 日

条織講社

常任理事ノ小泉 啓心

宛

樟院秋冷の便愈即清果手徳祝賀

稟議用紙

染織講社

又陳は毎々本講社ノ業ヲ興ヘテは格別ノ
 市援助を賜リテ深謝ニ就テは御座リ
 乍ラ速成ニテ御座リテ諸君ノ御座リテ
 石十月十四日午後五時岡崎ノ方迄御来
 在御座リテ段御来内ナリト云々 敬具

産業委員

川橋豊之助郎

西村 力

出

生谷電之助

堀内中三郎

出

山村直三郎

久内山廣三

北屋事平

出乃由乃三郎

出元

宅乃佐助

47

昭和五年八月十七日起案		昭 和 年 月 日決裁	昭 和 年 月 日發行	淨寫者	校合者
會長	副會長	理事長	常任理事	幹事	
昭和十五年八月十七日 北員割當別紙一通作成 追而本島市、通商、機會、託付山川、文書、回條、岩村 小島、常務理事、土倉、以下相談、可致、予、定、之、事、也		同			

日
和
十
五
年
度
添
織
譜
壯
氣
大
出
陳
業

宗

[illegible]

宗

出

染織講社

DEF

[illegible]

昭和十五年個人講社員募集割當數

組名	十五年 割當 數度	金 額	十四年 割當 數度	参考 十四年 申込 數度
京都織物卸問屋同業組合	五五八	二七九〇 圓	三八〇	五五八
西陣織物部	二六九	一三四五	二〇〇	二六九
人絹白生地部	二五	一二五	二五	二〇
絹布白生地部 (京都生絹縮緬卸商業組合)	二五	一二五	二五	二〇
綿織物部	五一	二五五	四〇	五一
半襟部	三〇	一五〇	三〇	三〇
關東織物卸商業組合	五二	二六〇	五〇	五二
西陣織物工業組合	一三三	六六五	一三〇	一三三
西陣着尺織物工業組合	七〇	三五〇	二九	二九
京都洋傘ショール卸商業組合	二五	一二五		二〇

京都洋反物商組合	一五	七五	三〇	一三
京都染物同業組合	三〇	一五〇	八〇	二六
丹後縮緬工業組合	五	二五	〇	五
其他	一〇	五〇	一	六
合計	一二九八 口	六四九〇 圓	一、〇〇〇 口	一、二三一 口

昭和十五年團體講社募集組合

本年度募集團體	前年度募集團體	代表者氏名
日本染織物見本市協會	日本染織物見本市協會	會長 竹上藤次郎
西陣織物工業組合	西陣織物工業組合	理事長 長谷川市三
西陣着尺織物工業組合	西陣着尺織物工業組合	岡本仁兵衛
京都關東織物卸商業組合	京都關東織物卸商業組合	大橋常次郎
京都織物卸問屋同業組合	京都織物卸問屋同業組合	組長 渡邊郁二
京都染物同業組合	京都染物同業組合	"
京染吳服悉皆同業組合	京染吳服悉皆同業組合	" 船橋庄七
京都蠶糸商同業組合	京都蠶糸商同業組合	" 竹上藤次郎
京都織物輸出組合	京都織物輸出組合	理事長 渡邊嘉平
百貨店商業組合京都支部	百貨店商業組合京都支部	大丸、高島屋、丸物三百貨店代表

以下新募集分

はとや百貨店	はとや百貨店	事務取締 永末明
丹後縮緬工業組合	丹後縮緬工業組合	理事長 古賀精一
小松織物同業組合	小松織物同業組合	
福井縣織物同業組合	福井縣織物同業組合	
秩父織物工業組合	秩父織物工業組合	
計	十五組合	
京都生絹縮緬卸商業組合		理事長 野橋作兵衛
京都綿織物卸商業組合		" 伊吹文次郎
京都西陣織物卸商業組合		" 平井小三郎
京都西陣着尺織物卸商業組合		" 竹内清次郎

京都染呉服卸商業組合		○	安藤榮藏
京都人絨織物卸商業組合		○	三枝留二郎
京都タオ染手拭工業組合		○	西村伊兵衛
京都牛襪服裝品卸商業組合		○	細田永野
京都人絹白生地卸商業組合		○	山本仁三郎
京都綿織物染色工業組合		○	福本常夫
藤井大丸百貨店		○	社長 藤井
合 計	二十六圓俵		

團體特別分擔金

團體名	十五年分擔金度	前年分擔金度	
日本染織物見本市協會	四〇〇圓	四〇〇圓	
西陣織物宣傳會	二四六	二四六	
京染丹後縮緬宣傳會	三四〇	三四〇	
京染北陸縮緬宣傳會	一八〇	一八〇	
十日町織物宣傳會	一〇〇	一〇〇	
合 計	一、二六六	一、二六六	

十周年記念会

二月四日

内訳

講演員

一、五〇〇人

一人平均

一、五〇〇回

関係長其他

三〇人

一人平均

一、五〇〇回

賛助員

三二八人

一人平均

九、六〇〇回

役職員関係者

在野会長、会長、副会長、理事、常任理事、其他重役関係者

三〇人

一人平均

三、〇〇〇回

総裁 藤 土

49

昭和 年 月

日決裁

昭和 年 月

日發行

淨寫者

校合者

昭和 年 月 日 起案

起案者



會長

副會長

代 /

理事長

代 〆

常任理事

理事

幹事

西村

伺

本議決昭和十四年八月廿四日中今議決、雜文出
不定、付友記其目、流行可然哉

記

式典費、會議費、一九〇日流行

予備費、雜文、三八日流行

稟議用紙

染織講社

以上

常任租界會議案

一 昭和十五年樂織祭々場及日時ノ件

二 時代衣裳行列ニ關スル件

三 昭和十五年度歲入出豫算ノ件

四 昭和十三年度歲入出決算報告ノ件

昭和十五年染織祭々場及日時

祭

場

岡崎公園市運動場

日

時

四月七日午前十時

時代衣衾行列ニ關スル件

右ハ皇國ノ現狀ニ鑑ミ本年モ昨年同様中止シ其代
行トシテ適當ノ時機ニ於テ上古、奈良朝二時代ノ
衣衾展示ヲ開催セムトス

昭和十五年度柴嶽神社歳入出豫算

科 目	本年度 豫算額	前年度 豫算額	増比 △減	説 明
講社員分擔金	六五三〇	六六五〇	△一二〇	個人講社員 1000口 1500口 500口 團體 1000口 1500口 500口 各種宣傳會 1000口 1500口 500口
補助金	六三〇〇	六三〇〇		府 五八〇〇〇圓 市 五〇〇〇圓
前年度繰越金	一、〇〇〇	一、〇〇〇		
雜 收 入	一〇	一〇		
合 計	一三、八四〇	一三、九六〇	△一二〇	

柴 嶽 出

科 目	本年度 豫算額	前年度 豫算額	増比 △減	説 明
-----	------------	------------	----------	-----

事 務 費	一、五五〇	一、五五〇		備品費、消耗品費、印刷費、通信費、電話費、手當、備人料、雜費、雜費
會 議 費	六〇〇	六〇〇		評議員會、理事會、祭事委員會、式典委員會
式 典 費	一、五〇〇	一、五〇〇		式場設備費、式典執行費、神職會謝禮
祭 事 費	五、五五〇	三、二〇〇	二、三五〇	祭社員來賓接待費、儀座費、諸印慰勞、通信費、其他雜費、祭者謝禮及慰勞、心付、其他雜費
雜 支 出	三、三〇〇	一、八〇〇	一、五〇〇	衣裝保管料、講社員募集手數料、立十周年記念費、衣裝展示費、其他雜支出
豫 備 費	一、三四〇	一、三一〇	三〇	
衣裝補修費其他		四〇〇〇	△四、〇〇〇	
合 計	一三、八四〇	一三、九六〇	△一二〇	

昭和十五年個人壽社員募集割當數

組名	十五年 割當 數度	金 額	十四年 割當 數度	参考 十四年 申込 數度
京都織物卸問屋同業組合	三八〇	一、九〇〇	三八〇	五五八
西陣織物部	二〇〇	一、〇〇〇	二〇〇	二六九
人絹白生地部	二五	一二五	二五	二〇
絹布白生地部 (京都生絹縮緬卸商業組合)	二五	一二五	二五	二〇
綿織物部	四〇	二〇〇	四〇	五一
半襟部	三〇	一五〇	三〇	三〇
關東織物卸商業組合	五〇	二五〇	五〇	五二
西陣織物工業組合	一三〇	六五〇	一三〇	一三三
西陣着尺織物工業組合	五〇	二五〇	二九	二九
京都洋傘シヨール卸商業組合	二〇	一〇〇		二〇

組名	十五年 割當 數度	金 額	十四年 割當 數度	参考 十四年 申込 數度
京都洋反物商組合	一三	六五	三〇	一三
京都染物同業組合	三〇	一五〇	八〇	二六
丹後縮緬工業組合	五	二五	〇	五
其他	二	一〇	一	六
合計	一、〇〇〇	五、〇〇〇	一、〇〇〇	一、二三一

昭和十五年國體講社募集組合

本年度募集團體	前年度募集團體	代表者氏名
日本染織物見本市協會	日本染織物見本市協會	會長 竹上藤次郎
西陣織物工業組合	西陣織物工業組合	理事長 長谷川市三
西陣着尺織物工業組合	西陣着尺織物工業組合	岡本仁兵衛
京都關東織物卸商業組合	京都關東織物卸商業組合	大橋常次郎
京都織物卸問屋同業組合	京都織物卸問屋同業組合	組長 渡邊郁二
京都染物同業組合	京都染物同業組合	〃
京染吳服悉皆同業組合	京染吳服悉皆同業組合	〃 船橋庄七
京都蠶糸商同業組合	京都蠶糸商同業組合	〃 竹上藤次郎
京都織物輸出組合	京都織物輸出組合	理事長 渡邊嘉平

百貨店商業組合京都支部	百貨店商業組合京都支部	大丸、高島屋、丸物三百 貨店代表
はとや百貨店	はとや百貨店	事務取締 永末 明
丹後縮緬工業組合	丹後縮緬工業組合	理事長 古賀精一
小松織物同業組合	小松織物同業組合	
福井縣織物同業組合	福井縣織物同業組合	
秩父織物工業組合	秩父織物工業組合	
計	十五組合	

國 體 特 別 分 擔 金

國 體 名	十五年度 分擔金	前年度 分擔金	前年度 實收金
日本染織物見本市協會	四〇〇圓	四〇〇圓	四〇〇圓
西陣織物大會	一五〇	一五〇	二四六
京染丹後縮緬宣傳大會	六五	一三〇	三四〇
京染生北陸縮緬宣傳大會	一六五	一六五	一八〇
十日町織物宣傳大會	〇	五五	一〇〇
計	七八〇	九〇〇	一二六六

昭和十三年度染織課社決算

收 入

一金壹萬七千七百七拾貳圓參拾壹錢也 收支決算額

支 出

一金壹萬五千五百五拾壹圓參拾四錢也 支出決算額

收 支 差 引

殘金貳千六百貳拾圓九拾七錢 昭和十四年度へ繰越

收 支

科 目	決 算 額	豫 算 額	増 減 算 比 率	備 考
講社員分擔金	七九七九圓	一三、九六〇圓	△五、九八〇圓	四五
補 助 金	四、三〇〇圓	六、三〇〇圓	△二、〇〇〇圓	〇〇
前年度繰越金	五、三八五圓	四、七五〇圓	六、三五〇圓	三〇
雜 收 入	一〇七圓	二〇〇圓	八七圓	四六
計	一七、七七二圓	二五、〇三〇圓	△七、二五七圓	六九

科	事務費	會議費	式典費	祭事費	雜支出	衣裳補修費	豫備費	計
決算額	一、五四四 _圓	一、〇二三	一、一八八	三、二七四	三、一二〇	五、〇〇〇		一五、一五一
豫算額	一、五四四 _圓	一、〇二三	一、一八八	三、二七四	三、一二〇	五、〇〇〇		一五、一五一
増減	△	△	△	△	△	△		△
比率	五 _圓	四二三	七六六	七二五	八二〇	一		六六
備考		豫備費ヨリ流用			豫備費ヨリ流用			

十五年度新規勸誘豫定先團體

本年度募集團體	前年度募集團體	代表者氏名
京都生絹縮緬卸商業組合	○	理事長 野橋作兵衛
京都綿織物卸商業組合	○	伊吹文次郎
京都西陣織物卸商業組合	○	平井小三郎
京都西陣着尺織物卸商業組合	○	竹内清次郎
京都染吳服卸商業組合	○	安藤榮藏
京都人織織物卸商業組合	○	圓城留二郎
京都友禪工業組合	○	加納捨六
京都半襟服裝品卸商業組合	○	細田永助
京都人絹白生地卸商業組合	○	山本仁三郎

京都綿織物染色工業組合	○	宮本常夫
京都絞工業組合	○	松尾喜七
藤井大丸百貨店	○	社長 藤井 明
染匠會	○	會長 長澤桑太郎
合計	十三團體	

昭和
年
月
日決裁

昭和拾四年三月拾參日

淨寫者

校合者

昭和十年十一月十一日起案

會長

代

理事長

常任理事

理事

薛野亭

補助金下附申請

命

10

陳徹講社會長

吊都市長

名

付知

市長宛

今議所今議

稟議用紙

染織講社

謹啓

本講社ハ四年ふシテ創立拾周年ヲ以テ之トナリ
社礎愈々堅固ト成リタルニ全ク圖下ニ在リ各位ノ
深恩ナクハ文據ヲ賜ト感謝四拜至スル爲テ昨午
夢中ノ一齋曲ハ四月七日ノ最事ト奉テ改シ時代
婦人服装ヲ列ハ皇女ノ現狀ヲ鑑ミ昨午日祿中止
改シ其代ハトシテ本市公會堂ニ於テ本講社所藏ノ
時代婦人衣裳ヲ展覧会ニテ示儀ニ御ガナリトモ奉存
度其布ノ適度ニ事皆改ム目下之ニガ準備中ニ有リ
其就ニハ之ニガ設備其也これ等ノ甚ク要スヘク之ニ
付例事一通ヲ奉書中ヘ書

田中補助九作

千石 予義 丸屋 妙段 申請 手

補助申請額

府 八百圓

市 五千圓

令 五百圓

昭和十五年度柴溝社茂入出豫算

科 目	本年度 豫算額	前年度 豫算額	増比 △減	説 明
講社員分擔金	六五三〇	六六五〇	△一二〇	個人講社員 1000口 1500口 共 2500口 團體 180口 100口 共 280口 各種宣傳會 220口 府會 五八〇〇圓 市 五〇〇〇圓
補助金	六三〇〇	六三〇〇		
前年度繰越金	一、〇〇〇	一、〇〇〇		
雜 收 入	一〇	一〇		
合 計	一三、八四〇	一三、九六〇	△一二〇	

茂 出

科 目	本年度 豫算額	前年度 豫算額	増比 △減	説 明
事務費	一、五五〇	一、五五〇		備品費、消耗品費、印刷費、通信費、電話費、手當、備人料、雜品費、雜費
會議費	六〇〇	六〇〇		評議員會、理事會、祭事委員會、式典委員會
式典費	一、五〇〇	一、五〇〇		式場設備費、式典執行費、神職會謝禮
祭事費	五、五五〇	三、二〇〇	二、三五〇	祭社員來賓接待費、徽章費、諸印慰勞、通信費、其他雜費
雜支	三、三〇〇	一、八〇〇	一、五〇〇	募集保管料、祭社員募集手數料、創立十周年記念費、其他雜支
豫備費	一、三四〇	一、三一〇	三〇	
衣裳補修費其他		四〇〇〇	△四〇〇〇	
合 計	一三、八四〇	一三、九六〇	△一二〇	

Calce
1904 1200

科 目	本年度 豫算額	前年度 豫算額	増比 △減	説 明
事務費	一、五五〇	一、五五〇		備品費、消耗品費、印刷費、通信費、電話費、手當、備人料、雜品費、雜費
會議費	六〇〇	六〇〇		評議員會、理事會、祭事委員會、式典委員會
式典費	一、五〇〇	一、五〇〇		式場設備費、式典執行費、神職會謝禮
祭事費	五、五五〇	三、二〇〇	二、三五〇	祭社員來賓接待費、徽章費、諸印慰勞、通信費、其他雜費
雜支	三、三〇〇	一、八〇〇	一、五〇〇	募集保管料、祭社員募集手數料、創立十周年記念費、其他雜支
豫備費	一、三四〇	一、三一〇	三〇	
衣裳補修費其他		四〇〇〇	△四〇〇〇	
合 計	一三、八四〇	一三、九六〇	△一二〇	

昭和十五年個人壽社員募集割當數

組名	十五年 割當 數度	金 額	十四年 割當 數度	参考 十四年 申込 數
京都織物卸問屋同業組合	三八〇	一、九〇〇	三八〇	五五八
西陣織物部	二〇〇	一、〇〇〇	二〇〇	二六九
人絹白生地部	二五	一二五	二五	二〇
絹布白生地部 (京都生絹織物卸商業組合)	二五	一二五	二五	二〇
綿織物部	四〇	二〇〇	四〇	五一
半襟部	三〇	一五〇	三〇	三〇
關東織物卸商業組合	五〇	二五〇	五〇	五二
西陣織物工業組合	一三〇	六五〇	一三〇	一三三
西陣着尺織物工業組合	五〇	二五〇	二九	二九
京都洋傘ショール卸商業組合	二〇	一〇〇		二〇

組名	計	他	合
京都洋反物商組合	一三		一三
京都染物同業組合	三〇	一五〇	一八〇
丹後縮緬工業組合	五	二五	三〇
其他	二	一〇	一二
合計	一、〇〇〇	五、〇〇〇	六、〇〇〇

昭和十五年國體神社募集組合

本年度募集國體	前年度募集國體	代表者氏名
日本染織物見本市協會	日本染織物見本市協會	會長 竹上藤次郎
西陣織物工業組合	西陣織物工業組合	理事長 長谷川市三
西陣着尺織物工業組合	西陣着尺織物工業組合	岡本仁兵衛
京都關東織物卸商業組合	京都關東織物卸商業組合	大橋常次郎
京都織物卸問屋同業組合	京都織物卸問屋同業組合	組長 渡邊郁二
京都染物同業組合	京都染物同業組合	〃
京染吳服悉皆同業組合	京染吳服悉皆同業組合	〃 船橋庄七
京都蠶糸商同業組合	京都蠶糸商同業組合	〃 竹上藤次郎
京都織物輸出組合	京都織物輸出組合	理事長 渡邊嘉平

百貨店商業組合京都支部	百貨店商業組合京都支部	大丸、高島屋、丸物三、百貨店代表
はとや百貨店	はとや百貨店	事務取締役 永末 明
丹後縮緬工業組合	丹後縮緬工業組合	理事長 古賀精一
小松織物同業組合	小松織物同業組合	
福井縣織物同業組合	福井縣織物同業組合	
秩父織物工業組合	秩父織物工業組合	
計	十五組合	

國 体 特 別 分 擔 金

國 体 名	十五年度 分擔金	前年度 分擔金	前年度 實收金
日本染織物見本市協會	四〇〇圓	四〇〇圓	四〇〇圓
西陣織物大會	一五〇	一五〇	二四六
京染丹後縮緬宣傳大會	六五	一三〇	三四〇
京染北陸縮緬宣傳大會	一六五	一六五	一八〇
十日町織物宣傳大會	〇	五五	一〇〇
計	七八〇	九〇〇	一二六六

昭和十四年九月十九日決裁
昭和十四年九月十九日起案
起案者
淨寫者
校合者

會長

副會長

理事長

代

常任理事

理事

幹事

昭和十四年九月十九日決裁
員割當別紙一通作成
員之付常任理事
合へ提出
裁

昭和十四年九月十九日決裁

昭和十四年九月十九日決裁

二一三四日 待

内沢

折紙 一冊

紙 一冊

紙 一冊

紙 一冊

紙 一冊

予 廿 五 五 〇 〇 〇

内沢

二八四〇日

九六〇日

一八〇日

七〇日

五〇日

三〇日

一〇日

産業

諸君 一〇〇人

未省 三〇〇人

徽章 一〇〇人

徽章 一〇〇人

徽章 一〇〇人

徽章 一〇〇人

徽章 一〇〇人

徽章 一〇〇人

雑 文 出 三 三 〇 〇 〇

内沢

三六〇日

衣裳保管科

染 織 講 社

常米要覧 三〇人 一人 廿四

衣裳展示会

創立十周年

雑文

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

一 一 五 二 〇

1933

—
2
1
14

三
九
〇
四

III. 2.

2
19

二六七の五

甲

山川
矢野四郎
長谷川
市長
今野
竹上、小泉、
一〇

2.

以上
 土屋
 助政
 浮月長
 新常都七
 佐市都七
 各団体長
 二〇
 岩村、美林
 三五八

三

五言古詩

三十一

三五人

圖
傷
軀
效
員
其
地

染織講社

昭和十五年個人壽社員募集割當數

組名	十五年當數	金額	十四年當數	備考
京都織物卸問屋同業組合	三八〇	一、九〇〇	三八〇	申十四年
西陣織物部	二〇〇	一、〇〇〇	二〇〇	二六九
人絹白生地部	二五	一二五	二五	二〇
絹布白生地部	二五	一二五	二五	二〇
（京都生絹縮緬卸商業組合）	四〇	二〇〇	四〇	五一
綿織物部	三〇	一五〇	三〇	三〇
半襟部	五〇	二五〇	五〇	五一
關東織物卸商業組合	一三〇	六五〇	一三〇	一三三
西陣織物工業組合	五〇	二五〇	二九	二九
西陣着尺織物工業組合	二〇	一〇〇	三〇	二〇
京都洋傘シヨール卸商業組合				

30 60 100 55 90 10 30 50 100 600

組名	計	其他	丹後縮緬工業組合	京都染物同業組合	京都洋反物商組合
合	一、〇〇〇	二	五	三〇	一三
	五、〇〇〇	一〇	二五	一五〇	六五
	一、〇〇〇	一	〇	八〇	洋傘シヨール組合
	一、二二一	六	五	二六	一三

55 15

昭和十五年函体講社募集組合

本年度募集団体	前年度募集団体	代表者氏名
日本染織物見本市協會	日本染織物見本市協會	會長 竹上藤次郎
西陣織物工業組合	西陣織物工業組合	理事長 長谷川市三
西陣着尺織物工業組合	西陣着尺織物工業組合	" 岡本仁兵衛
京都關東織物卸商業組合	京都關東織物卸商業組合	" 大橋常次郎
京都織物卸問屋同業組合	京都織物卸問屋同業組合	組長 渡邊 郁二
京都染物同業組合	京都染物同業組合	"
京染吳服悉皆同業組合	京染吳服悉皆同業組合	" 船橋庄七
京都蠶糸商同業組合	京都蠶糸商同業組合	" 竹上藤次郎
京都織物輸出組合	京都織物輸出組合	理事長 渡邊 嘉平
百貨店商業組合京都支部	百貨店商業組合京都支部	大丸、高島屋、丸物三百貨店代表

はとや百貨店	はとや百貨店	専務取締役 永末明
丹後縮緬工業組合	丹後縮緬工業組合	理事長 古賀精一
小松織物同業組合	小松織物同業組合	
福井縣織物同業組合	福井縣織物同業組合	
秩父織物工業組合	秩父織物工業組合	
計	十五組合	

團體特別分擔金

團體名稱	十五年度分擔金	前年度分擔金	前年度比	比較
日本染織物見本市協會	四〇〇圓	四〇〇圓	四〇	同
京染丹後縮緬宣傳大會	十三〇圓	一三〇	三〇	△ 二七 五
京染北陸縮緬宣傳大會	一六五	一六五	一八〇	△ 一 九
十日町織物宣傳大會	五五	五五	一〇	△ 一〇
西陣織物大會	一五〇	一五〇	二四〇	△ 九 六
計	九〇〇圓	九〇〇	一二〇	△ 四八 六

十五年 度新規勸誘豫定先團體

本年度募集團體	前年度募集團體	代表者氏名
京都生絹縮緬卸商業組合	○	理事長 野橋作兵衛
京都綿織物卸商業組合	○	伊吹文次郎
京都西陣織物卸商業組合	○	平井小三郎
京都西陣着尺織物卸商業組合	○	竹内清次郎
京都染吳服卸商業組合	○	安藤榮藏
京都人織織物卸商業組合	○	岡城留二郎
京都友禪工業組合	○	加納捨六
京都半襟服裝品卸商業組合	○	細田永助
京都人絹白生地卸商業組合	○	山本仁三郎

京都純織物染色工業組合	○	宮本常夫
京都絞工業組合	○	松尾喜七
藤井大丸百貨店	○	社長 藤井 明
染匠會	○	會長 長澤榮太郎
合計	十三團體	